

福山市医師会 在宅緩和ケア地域連携シート（通称：ローズネットシート）運用要綱

1. 目的

- 1) 患者・家族の意向に沿い、病院ケアチームと在宅ケアチーム間の情報共有、連携を図ることで、安心・安全な緩和ケアの提供を行う。
- 2) 患者・家族のさまざまな苦痛を緩和することを最優先とした、質の高い緩和ケアを継続するためのツールとして用いる。

2. 適応基準

- 1) 患者
 - ・入院中または通院中の患者で、患者・家族が在宅療養を希望している。
 - ・在宅療養において、在宅ケアチームの支援を希望している。
 - ・概ね症状コントロールが出来ている。
 - ・病院ケアチームから、在宅療養が可能であると判断されている。
- 2) 病院ケアチーム
 - ・在宅緩和ケア地域連携シート運用に同意している。
 - ・病院ケアチームがある。または退院・在宅移行支援の体制（地域連携室等）が整っている。
- 3) 在宅ケアチーム
 - ・在宅緩和ケア地域連携シート運用に同意している。
 - ・24時間対応が可能である。
 - ・医療用麻薬の取り扱いが可能である。

3. アウトカム

- ・患者・家族が安心して、望まれる限り自宅で過ごすことができる。